

化学療法未治療の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌(扁平上皮癌)
オブジーボ+ヤーボイ+パクリタキセル+カルボプラチン併用療法 患者プロトコール

投与プロトコール 1コース:42日間 コース数:1回 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1,22	—		
①	オブジーボ: 360mg/body 生食 100mL	mg	Day1,22	30分		
オブジーボ投与終了後30分以上経過してヤーボイの投与を開始する						
②	ヤーボイ: 1mg/kg 生食20mL 最終濃度1~4mg/mLとなるように調製	mg	Day1	30分		
プレメディ(内服)	セレスタミン	1錠	Day1,22	30分前		
プレメディ(注射)	H2R拮抗剤+生食20mL		Day1,22	静注		
プレメディ(点滴)	NK1-R拮抗剤+5-HT3R拮抗剤+テキサメタゾン+生食100mL		Day1,22	30分		
③	パクリタキセル:200mg/m² 生食 500mL	mg	Day1,22	3時間		
④	カルボプラチン:AUC(6) 5%ブドウ糖液 250mL	mg	Day1,22	1時間		
<p>◆オブジーボ投与時の総液量は、体重30kg以上の患者では総液量を150mL以下とする。 ※体重30kg未満の患者では、総液量を100mL以下とするため、生食50mL(100mLボトル)に希釈する。 ◆ヤーボイは最終濃度1~4mg/mLとなるように調製する。体重25kg未満の患者の場合は、生食量に注意が必要。 ◆カルボプラチン投与量 = AUC(6) × (Ccr+25) Ccr算出:Jelliffe式</p>						